

令和元年8月 台風10号における日吉ダムの洪水調節効果

- 台風10号の影響により、8月15日12時から16日8時にかけて、**流域平均の総雨量が145.1mm**、**時間最大雨量が20.1mm**となり、日吉ダムへの**流入量は約273m³/s**を記録。
- 予測降雨量が多いため事前放流等を実施し、通常の洪水調節容量4,200万m³に加え、301万m³を洪水調節容量として確保。
- 日吉ダムでは、**約249万m³の洪水を貯留**し、ダム下流の**桂川の水位**を保津橋地点(亀岡市保津町下中島)で**約0.12m低減**させる効果があったと推定。

かめおかしほづちょうしもなかじま

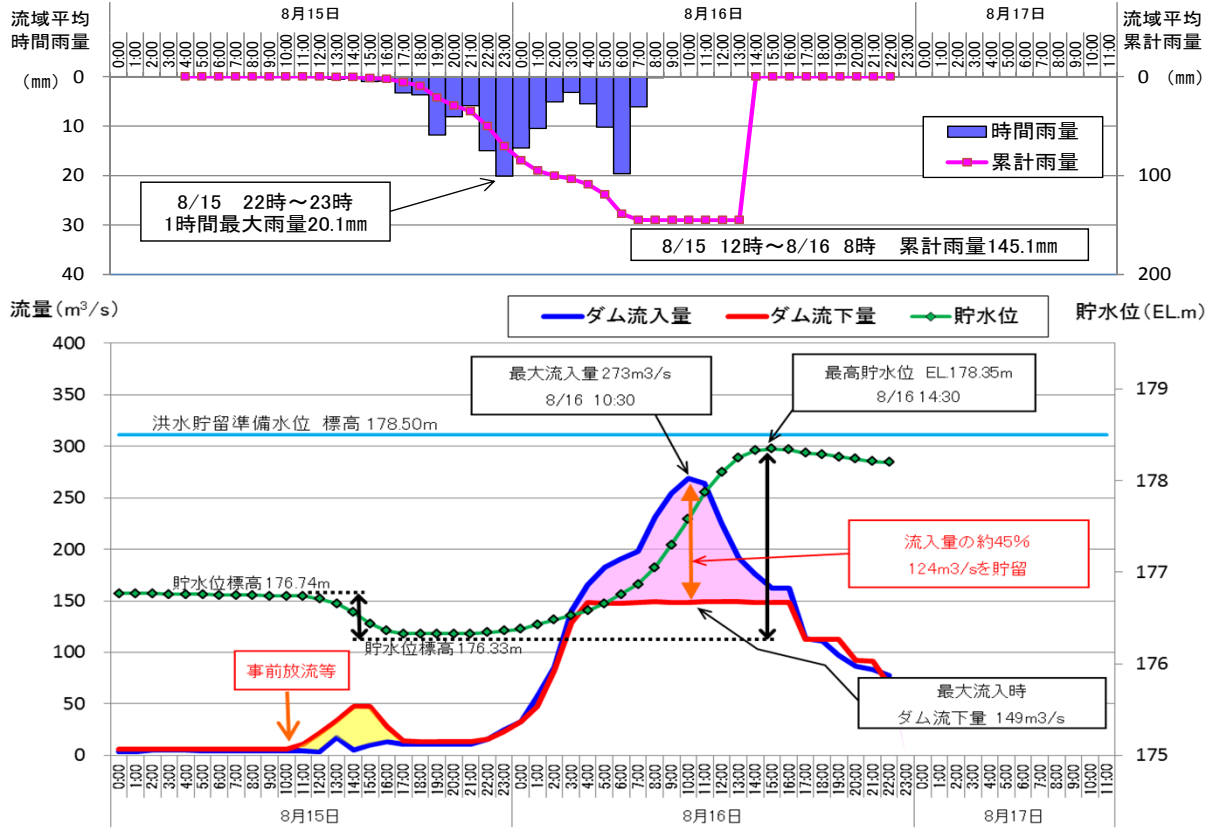
日吉ダムと保津橋地点の位置図



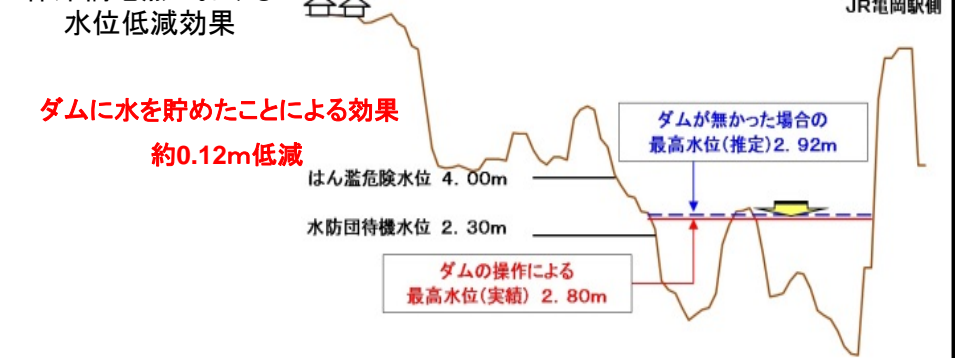
ダム貯留状況写真



日吉ダムの防災操作図



保津橋地点における水位低減効果



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。